

キャラクター名
浅田写六

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス		ワークス	探偵	カヴァー	探偵
オプション			年齢	25	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	31	%
出自	兄弟	経験	大成功	邂逅	ビジネス	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	0	1		1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	5	
運転：四輪	4		芸術：小説	2		知識：犯罪学	2		情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
灰色の脳細胞		0				対象のクリ-1、ダイス+1、ダメージ+9、達成値+2 アドヴァイス、要の陣形、弱点突破、導きの華 侵食値+12
灰色の脳細胞		0				対象のクリ-1、ダイス+2、ダメージ+12、達成値+4 アドヴァイス、要の陣形、弱点突破、導きの華 侵食値+12
たった一つの真実						ファンアウト+戦術

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
使用人	
コネ：警察官	
コネ：情報屋	
コネ：手配師	
コネ：要人への貸し	
コネ：マスメディア	
携帯電話	
フォーマル	
コネ：UGN幹部	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
浅田舞	P 執着	N 不安		
和鳥栖 平美	P 純愛	N 恥辱		
神城早月	P 幸福感	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
アドヴァイス	1	4	メジャー	視界	単体			
効果：	対象のクリ-1、ダイス+1							
要の陣形	3	3	メジャー		3体			
効果：	対象三倍3回							
導きの華	1	2	メジャー	視界	単体			
効果：	対象の達成値+2							
戦術	5	6	セットアップ	視界	シーン			
効果：	味方のダイス+5							
天性のひらめき	3	4						
効果：								
力の法則	3	4						
効果：								
妖精の手	3	4						
効果：								
ファンアウト	1	4						
効果：								
プロファイリング	1							
効果：								
地獄耳	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

シャーロック・ホームズの再来と呼ばれる名探偵。
幼い頃から頭がよく、推理小説を始めとした本を読みあさっていた。
オーヴァードとして覚醒したのは両親が死んだ高校生の頃だった。彼の両親はとあるジャームに殺されている。その際にUGNに保護されたのだが、その時既に彼はオーヴァードとして覚醒していた。
その後ノイマンとしての能力を探偵として利用する傍ら、UGNのイリーガルとしてジャームを狩っている。

シャーロック・ホームズの後継者と言っても別にコカインなどはやらないし肉体的には貧弱である。本人的にはポアロの方が好きなのでこの異名はあまり気に入っていない。

助手の平美とは最初はとある事件で探偵と依頼人として出会い、助手として事務所に転がり込んで今に至る。これはジャーム絡みの事件出会ったため、彼女はオーヴァードの存在について知っている。なお、彼女は女子大生である。
写六になつており、四六時中事務所に入り浸っている。
相棒以上恋人未満。恐らく両想いだが写六がヘタレすぎるため中々ゴールしない。

姉に対しては唯一で肉親であるがゆえに精神的に依存している部分がある。また、両親を失った経験から喪失を恐れている。彼女は弟がオーヴァードなどという化物になっていることも知らないし、両親の死亡理由も事故によるものだと思っている。美人だが高嶺の花扱いされているらしく28歳で未だ独身。交際相手募集中らしいがうまくいっていない。
写六と平美に気を回しつつちょっぴりかかっているのが趣味。

神城早月はまだ彼がそれほど有名でなかった頃からの付き合いで、オーヴァード絡みの依頼も無関係の依頼もよく持ち込んでくるお得意様である。
金払いがいいため助手の平美から神のごとく扱われている。